

令和7年2月14日

保護者の皆様

## 令和6年度「学校評価アンケート」を終えて

南知多町立みさき小学校長  
永井孝夫

向春の候、保護者の皆様には、本校の教育活動に対し、深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、1月に実施しました「みさき小についてのアンケート（学校評価）」へのご協力、ありがとうございました。また、3～6年生の児童は、「児童の生活アンケート」として、2学期までの生活を振り返り、教師も本年度の取組について自己評価しました。

別紙に集計結果をまとめましたので、ご覧ください。今後も今回の学校評価を基に、よりよいみさき小学校となるよう、学校教育活動の改善を図っていきたいと思います。引き続き、ご支援とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

※学校評価アンケートの結果について、質問項目に対するそれぞれの回答の割合（円グラフ）は、みさき小学校ホームページ（<http://minamichita.ed.jp/misakisho/>）に掲載していますので、ぜひ合わせてご覧ください。

<問い合わせ先 みさき小学校 教頭 都筑智光 Tel 63-0001 >

## 令和6年度 学校評価アンケート 集計まとめ

- それぞれの質問項目に対して、「4：あてはまる 3：まあまああてあまる 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない」の平均値を評価点として示しています。
  - 評価点が3.5以上であれば、「十分に評価できる」、3.0以上であれば「概ね評価できる」、3.0未満では、「何らかの問題点や課題がある」と考えています。
  - 質問項目に対するそれぞれの回答の割合（円グラフ）は、みさき小ホームページをご覧ください。
  - 児童アンケートは、質問を具体的な内容にしているため、対応する質問番号が示してあります。
- ※ホームページの児童アンケート結果をご参照ください。

	設 問	対象者	評価点 R6	評価点 R5	コ メ ン ト
1	学校教育目標（目指す児童像）の達成に向けてしっかり取り組んでいる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 20px;">児童アンケート 1～3番</div>	保護者	3.3	3.2	児童アンケートでは、「まわりの人への感謝の気持ちをもっている」の質問に対して、98.5%の児童が「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答しました。実際に学校生活の中でも、「ありがとう」の言葉を素直に言える児童に多く出会います。周りの人と支え合い、協働して活動する中で感謝の心をもつことは、一人一人の価値観と多様性を認め合う現代に生きる子どもたちにとって、大切な資質・能力となります。今後も、学校教育目標を中心に据えた教育活動を進めていきます。
		児 童	3.5	3.6	
		教 師	3.7	3.4	
2	授業で話し合い活動やタブレット端末の活用を取り入れるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、しっかり取り組んでいる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 20px;">児童アンケート 4～7番</div>	保護者	3.2	3.3	現在、本校では、自己肯定感を高めたり確かな学力を身に付けたりすることを目指し、自分の考えをしっかりとったり、伝え合ったりする活動を大切に授業づくりに取り組んでいます。学年の発達段階にもよりますが、授業の中で、ペアやグループでの話し合いを通して、考えを広げたり深めたりする場面も多く見られるようになっていきます。また、タブレット端末については、調べ活動や発表、ドリル学習など、さまざまな場面で活用するスキルが身に付いてきていると感じます。今後も先進校の取組の情報を得るなどして、さらなる活用方法を検討していきます。
		児 童	3.2	3.3	
		教 師	3.2	3.1	

3	<p>子どもたちの学びに向かう意欲を高め、一人一人に応じた学習指導（個別最適な学び）を進めている。</p> <p>児童アンケート 8～9番</p>	保護者	3.2	2.9	<p>児童の学びに向かう力を育てるための手だての一つとして、本校では、問いをもつことや学習後の振り返りを大切にされた授業に取り組んでいます。児童アンケートでは「授業がよく分かる」に対し、「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答した児童は、84.0%でした。児童にとって、分かる・できる喜びや楽しさは、これからの学びに向かう大きな原動力になります。今後も授業改善を進め、より多くの児童が笑顔で「授業がよく分かる」と回答できることを目指したいと考えます。</p>
		児童	3.2	3.2	
		教師	3.3	3.4	
4	<p>「あいさつ・返事・〇〇みがき」の基本的な生活指導や、道徳科の授業にしっかりと取り組んでいる。</p> <p>児童アンケート 10～14番</p>	保護者	3.3	3.3	<p>今年度、「きらきらチャレンジ」として、がんばりたいことや具体的な目標を用紙に書き、昇降口に掲示する活動に取り組みました。児童アンケートで、「自分で目標を決めているいろいろなことにチャレンジしている」の質問に対して、「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答した児童は82.6%でした。今後も自己肯定感を高めるとともに、自分を磨く意識を育てたいと考えています。また、あいさつや返事、きまりを守って生活することについては児童アンケート結果を見ると、昨年度同様、安定的にできていると感じています。</p>
		児童	3.4	3.4	
		教師	3.4	3.2	
5	<p>豊かな心を育むため、読書指導や、地域の人・自然から学ぶ活動にしっかりと取り組んでいる。</p> <p>児童アンケート 15番</p>	保護者	3.5	3.3	<p>本年度は図書館だよりを発行し、図書室のイベントや、図書委員会の取組のお知らせ、新しい本の紹介などをしました。放課になるとすぐに図書室に行き、うれしそうな顔で本を借りる姿をよく見かけます。児童の評価点が昨年度よりやや下がっていることが気になりますが、今後も本をはじめとして、さまざまな人・もの・ことから学ぶ活動を大切にしていきます。</p>
		児童	3.2	3.4	
		教師	3.4	3.1	

6	<p>運動への関心を高め、体力向上に向けて授業や課外活動等（部活動・クラブ活動・委員会活動）にしっかり取り組んでいる。</p> <p>児童アンケート 16番</p>	保護者	2.9	3.2	<p>児童アンケートで「体育の授業に進んで取り組んだり、大放課や昼放課に元気よく遊んだりしている」の質問に対して、「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答した児童が72.9%でした。昨年度のアンケートでは77.4%でしたので、やや下がった結果となりました。保護者アンケートの評価点も昨年度より下がっており、改善が必要であると考えます。児童が主体的に体を動かし、体力向上につながる体育授業や体育的行事を検討していきます。※部活動については、自由記述の部分で回答します。</p>
		児童	3.2	3.3	
		教師	3.3	3.5	
7	<p>健康に対する実践的態度和けがの予防にしっかり取り組んでいる。</p> <p>児童アンケート 17～19番</p>	保護者	3.3	3.5	<p>児童のアンケートでは「早寝・早起き・朝ごはん」に対する評価がやや低くなっています。体調不良で保健室に来室した児童に話を聞くと、前日に夜遅くまでメディアを使用して動画を見たりゲームをしたりしていたということを知ることがよくあります。今年度6月に行った学校保健委員会では、スマホ依存になると脳の発達に悪影響を及ぼすという事実も紹介しました。メディアとの上手な付き合い方や、よりよい生活習慣について、家庭と学校とで確認していく必要があると考えます。</p>
		児童	3.4	3.5	
		教師	3.5	3.5	
8	<p>多様性や子どもの人権を大切にするとともに、子どもや保護者と信頼関係を築き、いじめや体罰、児童虐待の防止にしっかり取り組んでいる。</p> <p>児童アンケート 20～21番</p>	保護者	3.3	3.1	<p>評価点は概ね昨年度より高くなっていますが、全ての児童がいつでも安心して学校生活を送ることについては、心配な面もあります。児童のアンケート結果では、「勉強や運動を丁寧に教えてくれる」の高評価に対して、「心配事があった時、先生に相談できる」では、32.4%の児童が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しました。児童と接する際の言葉遣いや態度を今一度全教職員で振り返り、今後も児童の人権を尊重して信頼関係を築いていきたいと考えます。</p>
		児童	3.3	3.0	
		教師	3.4	3.3	

9	通信、ホームページ、メール等で保護者や地域の方に教育活動の情報発信をしている。	保護者	3.7	3.2	保護者アンケートの結果では、98%の方が「あてはまる」「まあまああてはまる」と回答し、昨年度よりも評価点が高くなりました。保護者や地域の方とお話をしていると、ホームページの内容が話題になることもあり、多くの方に見ていただいていることを感じます。今後も、学校の取組や情報をタイムリーに発信する場として有効に活用していきたいと考えます。
10	子どもを通わせたい「しあわせな学校」となっている。	保護者	3.2	3.2	学校運営全体に関わる質問に対して、概ね評価できる数値ではありますが、より高めていく必要があるものです。今後も、児童・保護者・地域・教職員のウェルビーイングを高め、児童が毎日通いたくなる「しあわせな学校」を目指したいと考えます。

## 令和6年度 学校評価アンケート 自由記述欄まとめ

学校教育活動について、貴重なご意見等、ありがとうございました。頂いた質問やご意見についての回答を以下のようにまとめさせていただきました。(内容によっては表記を変更してまとめている場合がありますので、ご了承をお願いします)

### 1 行事について

- ・学習発表会はいつもどおりで体育館でやってほしいです。

〔回答〕

みさき参観日での学習発表は、児童の表現力を育てるとともに、児童が主体的に発表内容や方法を考え、見通しを立てて練習していく過程も重視した取組になります。また、教室で発表することで、不特定多数の相手への発表ではなく、児童はより具体的に聞き手を意識して伝えることができます。物理的に聞き手との距離が近いことは、相手を意識したコミュニケーション能力を育てることにもつながります。

また、体育館での発表では、練習や準備のために多くの授業時間を割いて行わざるを得ないことや、体育館のような大きな会場で全校児童・保護者を前にしての発表に対して、不安を抱え、活動に参加できない児童が少なからずいることなど、さまざまなことから総合的に判断し、教室での発表としました。

### 2 学習に関わることについて

- ・夏休みの宿題について、読書感想文、ポスターについては自由参加でいいのではないのでしょうか。

〔回答〕

教育研究会や町全体で取り組んでいるもの等もあるため、検討は必要となりますが、できるだけ児童に負担のないように、精選していきたいと考えています。

### 3 学校生活に関わることについて

- ・給食時のナプキンはいらないと思います。おぼんやプレートみたいなのでいいかなと思います。

〔回答〕

毎日清潔に使うための衛生面や保管に場所を取らないこと等を考えると、現状ではナプキンが合理的で使いやすいものであると考えています。準備や洗濯等について保護者の皆様にご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

### 4 部活動について

- ・部活の回数が少な過ぎると思います。他の市町の小学校の部活と比べても圧倒的に少ないのではないのでしょうか。ルールも分かっていない子もいて、試合にも勝てるわけないし、もっとしっかり毎週2回やってほしいと思います。

〔回答〕

1月22日発行の学校だより No.37「部活動の先」に記述したとおり、現在知多半島の小学校では南知多町だけが行っている部活動には、さまざまな課題があります。活動は限られた時間ではありますが、児童が主体となって取り組み、生涯スポーツにつながるきっかけづくりとして大切にしていきたいと考えています。

## 5 P T A活動について

- ・立番について、シルバーさんがいるから、保護者は立番なくしてはどうでしょうか。

〔回答〕

P T A委員会で話題にし、目的や効果、ご負担等を踏まえて協議したいと思います。

## 6 その他

- ・子どもは学校の様子を聞いても、秘密！としか言わないためあまり様子がわかりません。
- ・いつも子どものご尽力いただきありがとうございます。毎日元気に学校に通う姿を見て先生方のおかげだと思っています。特に担任の先生の授業は楽しいようで家でも先生の話聞かせてくれます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ・いつもお世話になっております。学校だけではなく、先生方が地域のイベントにも参加され、一緒にお祭りやハイキング等もまわられているので、普段お話しする担任の先生以外の先生方とも交流することができとても良いと感じました。ホームページでも普段の学校の様子がよくわかり、安心して通わせることができます。
- ・学年が上がるにつれて、勉強も難しくなってきた上、同じクラスの子に対して、関心、興味がある反面、友達との付き合い方がわからないというか、友達と上手く馴染めなくて、学校に行くことに日々辛そうに行っていて、かわいそうに思えてきます。
- ・学校の先生方には感謝することもあります。学年が上がるのはいいが、勉強が追いついてなくて、将来的に心配でしかないです。
- ・子どもへの声かけや接し方がきつ過ぎる先生がいると聞いています。そのような先生にはどのクラスの担任にもなってほしくありません。

〔回答〕

さまざまなご意見をありがとうございます。本校の児童は、人懐っこくて素直で心優しい子が多いと感じます。そのような児童の様子から、温かな家庭や地域で大切に育てていただいていることがよく伝わってきます。本校は開校して3年目となりますが、さまざまな場で応援の声を頂くなど、本当にたくさんの方に支えられていると感じます。学校としてもその期待に応えられるよう、そして、なにより児童が笑顔いっぱい安心して安全に通える学校であり続けられるよう、全教職員で丁寧なまごごろを込めて教育活動を進めていきます。